



JETRO

2026年版

# モロッコにおける グリーンエネルギー分野の ビジネスチャンス

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ラバト事務所

海外ビジネスサポートセンター サステナブルビジネス課

2026年3月

# 目次

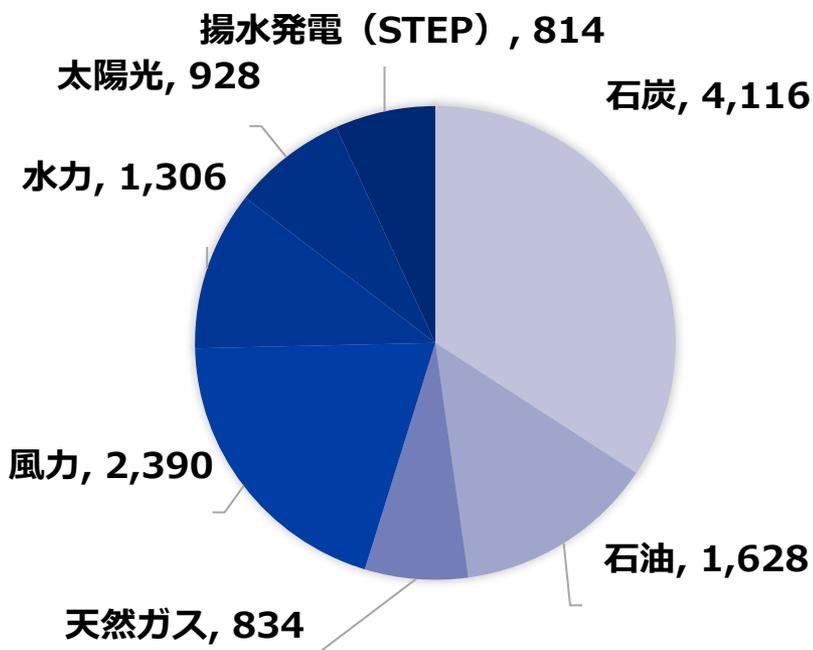
<b>I.</b>	<b>モロッコ政府のエネルギー関連政策</b>	<b>3</b>
1.	エネルギー分野の現状	4
2.	エネルギー政策・政府の方針・数値目標	7
3.	関連規制・法改正など	10
<b>II.</b>	<b>主要エネルギー関連プロジェクトと企業動向</b>	<b>12</b>
1.	進行中のプロジェクト一覧	13
2.	新規プロジェクトのマッピング	19
3.	主要企業による大型事業・投資計画動向	20
<b>III.</b>	<b>日系企業への示唆</b>	<b>27</b>

# I. モロッコ政府のエネルギー関連政策

# 1 | エネルギー分野の現状①

- 2024年において、設備容量における再生可能エネルギーが占める割合は**45%**で、2023年と比較して**4.6%上昇**した。

2024年のエネルギー源別設備容量内訳 (MW)



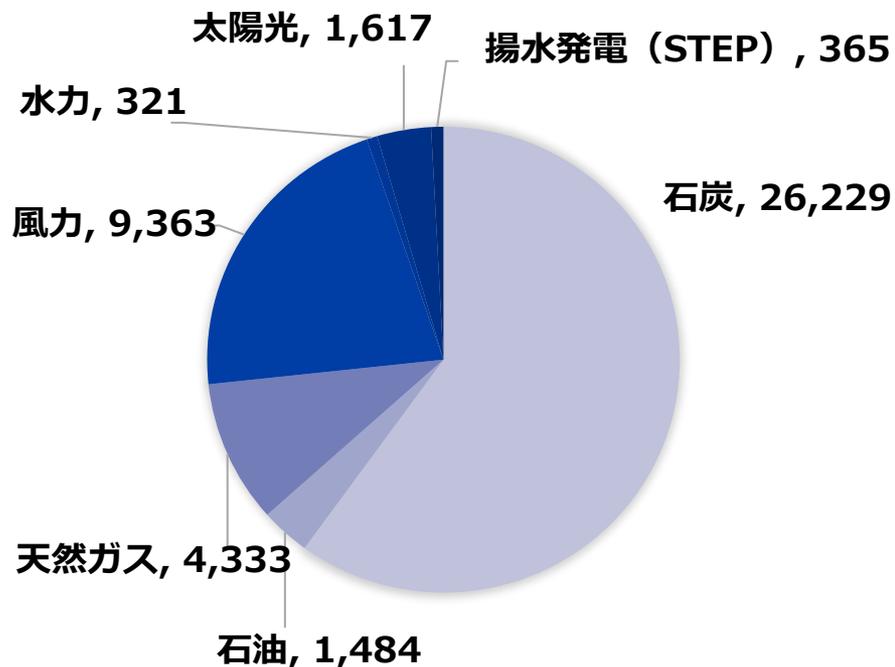
2024年のエネルギー分野を表す重要指数

総設備容量	12,017 MW
国内発電量	43,713 GW
純需要量	45,713 GW
最大需要	7,580 MW
国際貿易収支	+2,539 GW
送電網総長	29,806 KM

# 1 | エネルギー分野の現状②

- 2024年において、発電構成における再生可能エネルギーが占める割合は**27%**となり、前年の2023年と比べて**5.3%増加**した。
- モロッコを代表する太陽光発電所のひとつであるワルザザート太陽熱発電所3号機（Noor）の停止と水力発電量の減少にもかかわらず、風力と揚水発電が発電量全体を押し上げた。

2024年の電源別発電量内訳 (GW)



2024年発電量の内訳割合と前年比

	2024年	前年比
石炭	60%	-4%
石油	3%	-9%
天然ガス	10%	+3%
風力	21%	+43%
太陽光	4%	-25%
水力	1%	-9%
揚水発電 (STEP)	1%	+124%
合計	100%	+3%

# 1 | エネルギー分野の現状③

- 設備容量の増加要因として、以下の再生可能エネルギー案件の新規稼働（約 +817.3 MW）とケニトラの重油火力（225 MW）の廃止が挙げられる。

## 新規稼働プロジェクト

### 風力発電案件

- エッサウィラ「ジベル・ラフディッド」  
270MW規模、ONEE（National Office of Electricity and Potable Water）とのIPP（独立系発電事業者）
- テトゥアン「クディア・アル・バイダ・リパワリング」  
100MW規模、MASEN（Moroccan Agency for Sustainable Energy）

### 太陽光発電案件

- タンジエ  
30MW規模、法13-09に基づく建設、Green Power Morocco S.A.が開発、Almaden Maroc社による太陽光パネル製造を含む統合投資の一環として、Amendis社の中圧系統に接続された。
- ベングリール  
67.3MW規模、OCP社自家発電

### 揚水発電（STEP）

- アブデルムーメン  
350MW規模、タルーダント

- 2009年の国家エネルギー戦略開始以降、**再エネ比率は一貫して上昇**。
- 2030年に52%超という政府目標は、現行ペースにより前倒しで達成する可能性が高い。
- 設備容量は2010年以降、常に増加している。
- 2024年7月に、最大需要7,580メガワットを記録（前年比+2.4%）した。
- 電力需要の増加が、インフラ拡張計画の重要指標となっている。
- **国内生産が総需要を下回っており**、国際連系による補完的輸入の必要性が示唆される。
- 再エネ比率45%は、2030年目標（52%以上）に向けて到達可能圏にある水準である。
- **最大需要7.6GWに対し、設備容量12.0GW**という構成は、予備率確保と再生可能エネルギー変動性への対応を前提としたシステム設計である。

## 2 | エネルギー政策・政府の方針・数値目標①

2030年までのエネルギー転換を牽引する3つの数値目標

52%以上

設備容量における  
再生可能エネルギーの  
比率目標

20%

エネルギー消費の削減目標

53%

2035年時点での  
温室効果ガス削減目標

国家持続可能開発戦略  
(SNDD 2030)

国家エネルギー戦略  
2009年以降

NDC 2030  
温室効果ガス排出45.5%削減

ソーラー・プラン

風カプラン

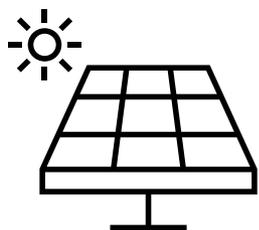
水素ロードマップ

2040年  
2050年

石炭火力の段階的廃止  
カーボンニュートラル（再生可能エネルギー比率を80%まで引き上げる）

## 2 | エネルギー政策・政府の方針・数値目標②

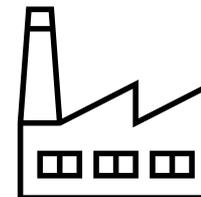
### 水素発電のバリューチェーン



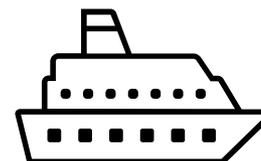
再生可能エネルギー発電



水電解・アンモニア変換



国内利用



輸出

大規模な投資家およびコンソーシアムを対象とし、政府は土地へのアクセスと許認可を担当

### 政策手段・調達モデル

- PPA（電力購入契約）：IPP事業の基本となり、長期的な収益予見性を提供
- MASEN入札：公的入札による競争的な価格決定およびパートナー選定
- インセンティブ：投資憲章に基づく税制優遇、土地利用の保証

## 2 | エネルギー政策・政府の方針・数値目標③ 主要関連機関・研究所など

機関名（正式名称）	担当業務
<b>ADEREE</b> (National Agency for the Development of Renewable Energy and Energy Efficiency : 再生可能エネルギー開発・エネルギー効率化庁)	再生可能エネルギー・省エネプロジェクト支援と普及促進
<b>AMEE</b> (Moroccan Agency for Energy Efficiency : モロッコエネルギー効率化庁)	エネルギー効率化と需要管理の促進
<b>AMISOLE</b> (Morocco Association Marocaine des Industries Solaires : モロッコ太陽光・風力発電協会)	太陽光・風力産業の統合・普及促進
<b>ANRE</b> (National Authority for Electricity Regulation : モロッコエネルギー効率化庁)	電力市場の規制・料金設定・電力網統合の監督
<b>FENEREC</b> (National Electricity Federation of Electronics and Renewable Energies : 全国電気・再生エネルギー連盟)	業界団体、政策提言・産業協業支援
<b>IFMERE</b> (Training Institutes for Renewable Energy and Energy Efficiency Professions : 再生可能エネルギーおよびエネルギー効率専門家のためのトレーニング機関)	再生可能エネルギー・効率化、技術者育成教育
<b>IRESEN</b> (Research Institute of Solar and Renewable Energy : 太陽・新エネルギー研究所)	再生可能エネルギー・新エネルギー研究開発、技術革新支援
<b>MASEN</b> (Moroccan Agency for Sustainable Energy : 持続可能エネルギー庁)	大規模再生可能エネルギー事業の企画から実施。Green Climate Fundの認定を受けている
<b>MTEDD</b> (Ministry of Energy Transition and Sustainable Development : エネルギー移行・持続可能な開発省)	エネルギー政策・戦略策定、再エネ推進全般、脱炭素・効率化計画
<b>ONEE</b> (National Office of Electricity and Potable Water : 国営電力・水道公社)	発電や送配電を含む基幹インフラの運用を担う国営企業

## 3 | 関連規制・法改正など①

- 再生可能エネルギーに関する法律第13-09号の改正（法律第40-19号）によって、再生可能エネルギー分野を公共主導→**民間主導+規制による統治に完全移行**。IPP・事項消費・第三者供給が安定化。

### 許可制度・届出制度の見直し

- 私法上の法人のみ許可申請可能
- 技術審査委員会の設置  
エネルギー所管官庁内に技術委員会を設置  
設置認可付与にあたり拘束力のある技術意見を発出
- 設置・運転許可通知期限が3カ月→**最大2か月に短縮**

### 電力の売買・商業化

- 再生可能エネルギーの販売先：  
系統接続消費者（単独・グループ）  
配電事業者（年間生産量の**最大40%**まで購入可能）  
両者
- 余剰電力の最大販売量：年間生産量の20%まで。
- 余剰電力の買取先：  
高圧のものはONEE  
中低圧のものは配電事業者
- 買取条件や価格はANREが決定する。

### 電力の輸出

- 輸出可能なのは国家送電網接続事業者のみ。
- 配電事業者の意見と行政による承認、損失率や通貨料金を明示することが条件となる。

### 蓄電・原産地証明書について

- 再エネ案件の収益性向上、変動性低減、系統安定化を目的として、事業者自身による蓄電設備設置を許可。
- 再生可能エネルギー由来電力であることを証明する原産地証明書の取得が可能。

## 3 | 関連規制・法改正など②

- 電力の自家消費を前提とした分散型再生可能エネルギー発電を制度化する法律第82-21号を施行。  
→設備所有と運営の分離が可能となり、**EPC/O&Mビジネス**が成立するようになる。
- 法律第83-21号に基づく**SRM（地域マルチサービス会社）の創設**により、公共サービスを一体化する段階に入っている。

### 認可・届出制度

- 対象となるのは、原則公共事業者や電力事業者以外で、製造業、鉱業、農業、データセンター、淡水化、商業施設など。
- 5メガワット未満→届出・接続合意。
- 5メガワット以上→要認可、系統受入容量の制約あり、中規模以上は事前の系統確認が必須。
- 技術要件として**スマートメーター**が必須となる。

### 余剰電力の販売・リスク管理

- 最大**20%**まで。
- 価格はANREが決定し、市場と連動しない。
- 出力抑制・接続停止に補償なし。
- 法令・政令への継続的フォローが不可欠。

### 原産証明書（施行令2-24-761号）

- 国家電力網に注入される電力のトレーサビリティおよび透明性を確保するもの。
- 特に国際市場向け製品を扱う産業活動において、脱炭素化プロセスへの貢献が可能となる。

### スマートメーター（施行令2-24-804号）

- 電力買取量や注入量を正確に計測するために設定

### SRM

- 電力・上下水・公共照明を一元管理。
- 2024年末には、カサブランカ=セタット地域、スース=マッサ地域、マラケシュ=サフィ地域、東部地域（オリエンタル）にて稼働を開始。

## Ⅱ. 主要エネルギー関連プロジェクトと企業動向

# 1 | 進行中のプロジェクト一覧（風力①）

風力（設備容量） 担当会社	ステータス	都市名
アブデルハレク・トーレス風力発電所（50 MW）	稼働中	テトゥアン
アクフェニル I 風力発電所（101.87 MW）	稼働中	タルファヤ
アムグドウル・エッサウィラ風力発電所（60 MW）	稼働中	エッサウィラ
ハラディ風力発電所（120 MW）	稼働中	アンジュラ
ラファージュ風力発電所（32 MW）	稼働中	テトゥアン
タンジェ I 風力発電所（140 MW）	稼働中	タンジェ
タルファヤ風力発電所（300 MW）	稼働中	タルファヤ
フォーム・エル・ウェド風力発電所（50.6 MW）	稼働中	ラユーン
ハウマ風力発電所（50.6 MW）	稼働中	アンジュラ
フリディアI風力発電所事業（18 MW） <b>InnoVent Maroc</b> （フランス）	2021年建設開始	サフィ
アフフェニルII風力発電所拡張事業（101,87MW追加） <b>EEM</b> （モロッコ）	2016年～稼働中	タルファヤ
アフエルカット風力発電所事業（80 MW） <b>Enel Green Power</b> （イタリア）	建設前	アフエルカット（推測）
アクフェニル風力発電所III 事業（50 MW） <b>EEM</b> （モロッコ）	2021年建設開始	タルファヤ
ハルマッタン風力発電所事業（100 MW） <b>AM Wind</b> （米国）	2021年から未着工	ダクラ

（出所）エネルギー転換庁ホームページ、2026年及び各担当企業のプロジェクトページより

# 1 | 進行中のプロジェクト一覧（風力②）

風力（設備容量） 担当会社	ステータス	都市名
カップ・コンタン風力発電所事業（108 MW） <b>Green Breeze</b> （モロッコ）	2021年建設開始	サフィ
ダクラ風力発電所事業（40 MW） <b>Dakhla Water and Energy Company</b> （特別目的事業体）	不明	ダクラ
アフティサットI 風力発電所事業（200 MW） <b>EEM</b> （モロッコ）	2018年10月以降稼働	ジュライフィア
アフティサットII 風力発電所事業（200 MW） <b>EEM</b> （モロッコ）	2023年8月以降稼働	ジュライフィア
ビランザラン風力発電事業（200 MW） <b>Green of Africa Dakhla</b> （モロッコ）	2024年9月建設開始	ビル・アンザラン
ブジュドゥール風力発電事業（300 MW） <b>Nareva Holding</b> （モロッコ）と <b>Enel GreenPower</b> （イタリア）	建設中	ブジュドゥール
ミデルト風力発電事業（210 MW） <b>ONEE</b>	稼働中	ミデルト
タンジェ風力発電事業II（70 MW） <b>Nareva</b> （モロッコ） <b>Enel</b> （イタリア） <b>Siemens</b> （ドイツ）	不明	タンジェ
タザ風力発電事業（150 MW） <b>ONEE</b> 、 <b>le Fonds Hassan II pour le développement économique et social</b>	建設中	タザ
風力発電事業（270 MW） <b>ONEE</b> 、 <b>Nareva</b> （モロッコ） <b>Enel</b> （イタリア） <b>Siemens</b> （ドイツ）	建設中	エッサウィラ

（出所）エネルギー転換庁ホームページ、2026年及び各担当企業のプロジェクトページより

# 1 | 進行中のプロジェクト一覧（風力③、水力①）

風力（設備容量） 担当会社	ステータス	都市名
クディアト・バイダ風力発電所事業（120 MW） 追加設備を設置（200 MW） <b>THEOLIA</b>	建設中	テトゥアン
ティスクラド風力発電所事業（100 MW） <b>Nareva</b> （モロッコ） <b>Enel</b> （イタリア） <b>Siemens</b> （ドイツ）	不明	エル・アイウン
グラッド・ジュラド風力発電所事業（80 MW） <b>Voltaia Maroc</b>	恐らく稼働中	ラユーン
ワリディア風力発電所事業II（18 MW） <b>INNOVENT</b>	2023年以降稼働	サフィ
水力（設備容量） 担当会社	ステータス	都市名
アグデズ水力発電所（18.5 MW）	稼働中	アグデズ
イメズディルファン-タスクデルト-タジェム-ト水力発電（128 MW）	計画・調査中	ケニフラ
アブデルム-メン小水力発電所（12 MW） <b>Energie J2 Terre</b>	開発中	ス-ス=マッサ
アイト・ブゲマズ小水力発電所（9.8 MW） <b>Voltaia Maroc</b>	開発中	ケニフラ
バブ・ウエンデル小水力発電所（30 MW） <b>Platinum Power</b>	計画中	タウンアート
ブトフェルダ小水力発電所（18 MW） <b>Platinum Power</b>	開発中	ベニ・メラル=ケニフラ地方
ハッサンII小水力発電所（11.7 MW） <b>Energie J2 Terre</b>	開発中	ドラア=タフィラルト地方
メクラ・スファ小水力発電所（6 MW） <b>Energie J2 Terre</b>	開発中	メクラ・ベン・アブ
メルルー1小水力発電所（24 MW） <b>Platinum Power</b> （モロッコ）	2018年許可、 2023年稼働予定	アジラル
メルルー2小水力発電所（24 MW） <b>Platinum Power</b> （モロッコ）	計画中	アジラル

# 1 | 進行中のプロジェクト一覧（水カ②）

水カ（設備容量） 担当会社	ステータス	都市名
メリジャ小水力発電所（6 MW） <b>Energie J2 Terre</b>	開発中	メクラ・ベン・アブ
ウエド・ザ小水力発電所（6.7 MW） <b>Energie J2 Terre</b>	開発中	アク・ウエド・ザ
シディ・シャヘド小水力発電所（1.3 MW） <b>Voltalia Maroc</b>	開発中	メクネス
シディ・ドリス小水力発電所（3.15 MW） <b>Energie J2 Terre</b> （モロッコ）	開発中	ワディ・アル・アクダル
シディ・サイド小水力発電所（1.98 MW） <b>Energie J2 Terre</b>	開発中	ザイダ・ミデルト
ウム・エル・ビア川源流小水力発電所（7.2 MW） <b>Voltalia Maroc</b> （フランス）	開発中	ケニフラ
タマジョウト小水力発電所（30 MW） <b>Platinum Power</b> （モロッコ）	開発中	アジラル
タメスルーテ小水力発電所（2.5 MW） <b>Energie J2 Terre</b> （モロッコ）	開発中	ララ・タケルクスト・ダム
ティルグギット II 小水力発電所（30 MW） <b>Platinum Power</b> （モロッコ）	開発中	アジラル
ウィルガン小水力発電所（6.6 MW） <b>Energie J2 Terre</b> （モロッコ）	開発中	ララ・タケルクストダム
アブデルムーメン揚水発電所（350 MW） <b>ONEE</b> （モロッコ） <b>Sinohydro</b> （中国）	開発中	アガディール
エル・メンゼル揚水発電所（300 MW）	計画段階	セフル
イファッサ揚水発電所（300 MW）	計画段階	シェフシャウエン

（出所）エネルギー転換庁ホームページ、2026年及び各担当企業のプロジェクトページより

# 1 | 進行中のプロジェクト一覧（太陽光①）

太陽光（設備容量） 担当会社	ステータス	都市名
マロック・フォトボルトアイク太陽光発電所（10 MW） <b>Green Power Morocco / Gaia Energy</b> （モロッコ）	稼働	エルジャディダ
グリーンパワー・モロッコ太陽光発電所（30 MW） <b>Green Power Morocco</b> （モロッコ）	稼働	エルジャディダ
ゴールデン・ロジスティクス自家消費太陽光発電所（1 MW） <b>Golden Logistics</b> （モロッコ）	稼働	カサブランカ
OCP自家消費太陽光発電所（1 MW） <b>OCP Group</b> （モロッコ）	稼働	ジオルフ・ラスファール
自家消費太陽光発電所（1 MW） 民間企業（不明）	稼働	カサブランカ
サフラン・ナセル自家消費太陽光発電所（1.69 MW） <b>Safran Nacelles</b> （フランス）	稼働	ヌアサール
ネクサンス・モロッコ自家消費太陽光発電所（2.5 MW） <b>Nexans Maroc</b> （フランス）	稼働	カサブランカ
自家消費太陽光発電所（18 MW） <b>OCP Group</b>	開発中	ベンガリール
ヌールPV II（Phase 1）太陽光発電計画（400 MW） <b>MASEN</b> （モロッコ）、 <b>EDF Renewables</b> （フランス）、 <b>Green of Africa</b> （モロッコ）	建設・段階導入	複数箇所
ヌール・アトラス太陽光発電プロジェクト（200 MW） <b>MASEN</b> （モロッコ）、 <b>EDF Renewables</b> （フランス）、 <b>Green of Africa</b> （モロッコ）	稼働開始（2019-2023段階）	タタ

（出所）エネルギー転換庁ホームページ、2026年及び各担当企業のプロジェクトページより

# 1 | 進行中のプロジェクト一覧（太陽光②）

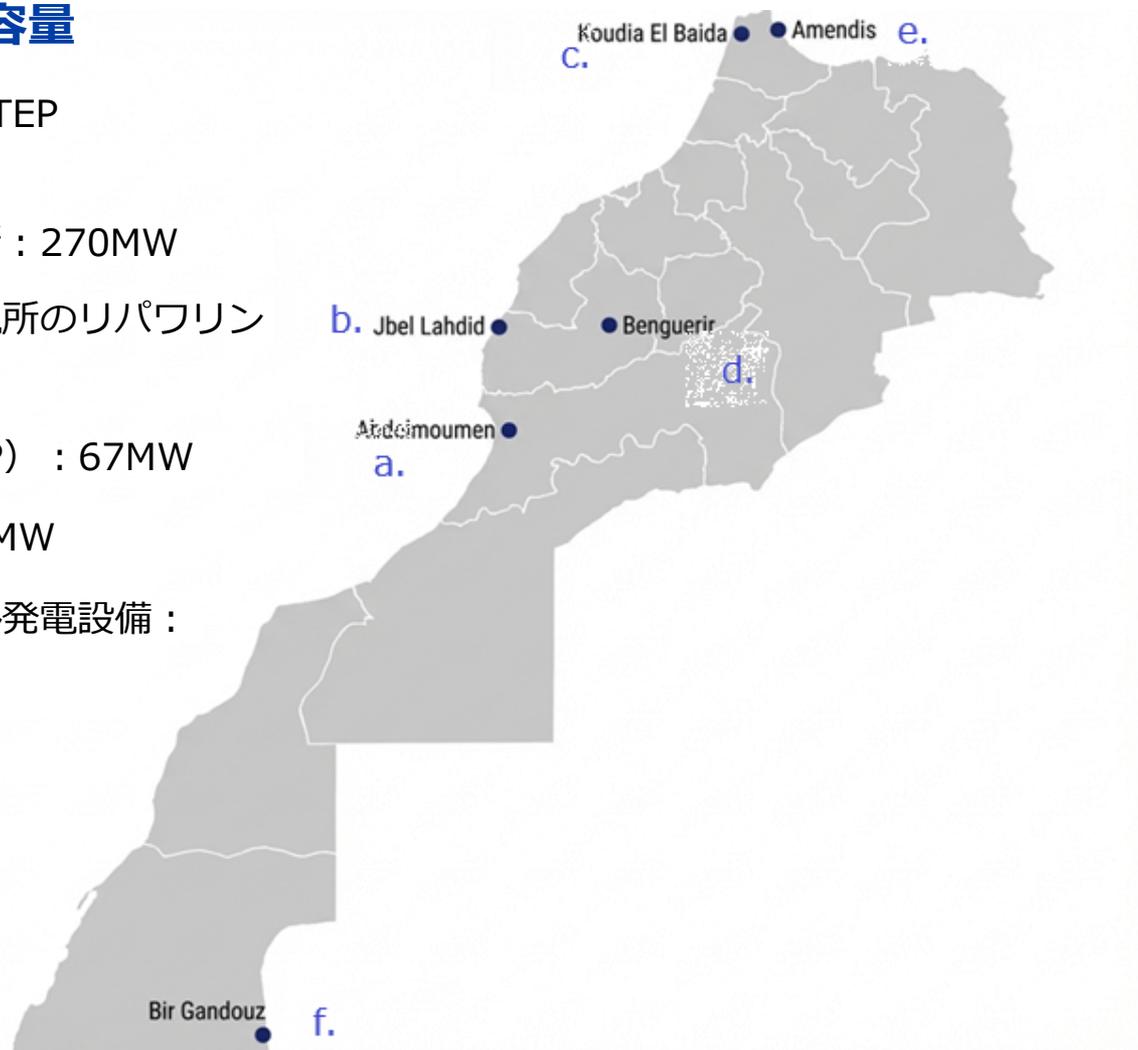
太陽光（設備容量） 担当会社	ステータス	都市名
ヌール・ブージュドゥール I 太陽光発電所（20 MW） <b>MASEN</b> （モロッコ）、 <b>EDF Renewables</b> （フランス）、 <b>Green of Africa</b> （モロッコ）	稼働	ブージュドゥール
ヌール・ブージュドゥール II 太陽光発電所（350 MW） <b>MASEN</b> （モロッコ）、 <b>PowerChina</b> （中国）などコンソーシアム	開発段階	ブージュドゥール
ヌール・ラユーン I 太陽光発電所（85 MW） <b>MASEN</b> （モロッコ）、 <b>ACWA Power</b> （サウジアラビア）	稼働	ラユーン
ヌール・ミデルト第1期太陽光発電所（800 MW） <b>MASEN</b> （モロッコ）、 <b>EDF Renewables</b> （フランス）、 <b>Masdar</b> （UAE）	開発遅延・再入札準備	ミデルト
ヌール・ワルザザート I（160 MW） <b>ACWA Power</b> （サウジアラビア） + <b>MASEN</b> （モロッコ）	稼働	ワルザザート
ヌール・ワルザザート II（200 MW） <b>ACWA Power</b> （サウジアラビア） + <b>Sener</b> （スペイン） + <b>MASEN</b> （モロッコ）	稼働	ワルザザート
ヌール・ワルザザート III（150 MW） <b>ACWA Power</b> （サウジアラビア） + <b>Sener</b> （スペイン） + <b>MASEN</b> （モロッコ）	稼働	ワルザザート
ヌール・ワルザザート IV（72 MW） <b>ACWA Power</b> （サウジアラビア） + <b>MASEN</b> （モロッコ）	稼働	ワルザザート
ヌール・タフィラルト太陽光発電所（120 MW） <b>MASEN</b> （モロッコ）、 <b>EDF Renewables</b> （フランス）、 <b>Green of Africa</b> （モロッコ）	開発中	タフィラルト

（出所）エネルギー転換庁ホームページ、2026年及び各担当企業のプロジェクトページより

## 2 | 新規プロジェクトのマッピング

### 2024年に稼働した新規設備容量

- a. アブデルムーメン揚水発電所（STEP Abdelmoumen）：350MW
- b. ジュベル・ラフディド風力発電所：270MW
- c. クディア・エル・バイダ風力発電所のリパワリング：設備容量50MW→100MW
- d. ベンガリール太陽光発電所（OCP）：67MW
- e. アメンディス 太陽光発電所：30MW
- f. ビル・ガンドゥーズ・ディーゼル発電設備：1.2MW



（出所） ONEE 2024年年次報告書を基に作成

### 3 | 主要企業による大型事業・投資計画動向①

#### OCPグループとAFDグループのパートナーシップ

- OCP Group : モロッコにおける世界最大級のリン酸塩肥料企業、  
売上は約90億米ドル以（2024）、世界350社以上と取引実績がある。
- AFD Group : (Agence Française de Développement : フランス開発庁)  
フランスの公的開発金融機関、  
160以上の国・地域でSDGs関連プロジェクトを支援している。

- ✓ 2025年4月17日 : MAVA (Mobilizing for Agricultural Value Chains in Africa) プラットフォームへの支援契約
- ✓ 2025年5月13日 : 両者間で戦略的パートナーシップ契約が締結される
- ✓ 約4億4,000万米ドルの資金提供契約

- OCPの2023年～2027年にかけてのグリーン投資計画（130億米ドル規模）の概要※
  1. 再生可能エネルギー100%を2027年までに達成
  2. 海水淡水化などによる工業用水利用の達成（既に2025年初頭から運用中）
  3. グリーンアンモニア/グリーン水素生産能力の増強
  4. バリューチェーン全体でのカーボンニュートラル化  
(Scope 1&2は2030年まで、Scope 3は2040年までの達成目標)
- AFDはこれらの目標の実績と連動した形で資金を提供する。

(出所) AFD, “OCP Group and AFD Group formalize their strategic partnership.”

### 3 | 主要企業による大型事業・投資計画動向②

#### OCPグループとSACEの大型資金連携

- OCP Group：モロッコにおける世界最大級のリン酸塩肥料企業、売上は約90億米ドル以（2024）、世界350社以上と取引実績がある。
- SACE（Servizi Assicurativi del Commercio Estero）：  
イタリア財務省管轄の輸出信用機関であり、保証付きグリーン金融を通じてイタリア企業の対外展開および、戦略的パートナー国との経済関係を支援している。

✓ **2025年5月27日：SACE Push Strategy（モロッコ初）**

✓ **約3億6,500万ユーロの資金提供契約**

- OCPの2023年～2027年にかけてのグリーン投資計画（130億米ドル規模）※p.20の概要参照  
に対して、SACEは下記のように対応している。
  1. 工業プロセス向け非在来水（水再利用・淡水化）インフラへの投資資金を供給
  2. 再生可能エネルギー導入および低炭素型肥料（グリーン肥料）生産能力拡張を資金面から支援
  3. OCPの水・エネルギー両面での自立化と脱炭素工程の前倒しに寄与

（出所）OCP Group、SACE プレスリリース（2025年5月27日）

### 3 | 主要企業による大型事業・投資計画動向③

#### 再エネ統合を目的とした送電網強化資金調達

ONEEの中長期投資計画に対して、欧州投資銀行、ドイツ開発銀行、EUが資金調達の観点で関与。

- ✓ 2025年5月22日 : プレスリリース
- ✓ 約3億ユーロの資金提供契約（BEIが1.7億ユーロ、KfWが1.3億ユーロ）
- ✓ EUが保証・制度支援において協調

#### 具体的な投資内容

- 送電網延長：731 km
- 送電容量増強：+1,850 MVA
- 新しい再生可能エネルギー電源の系統接続能力の向上
- 系統安定性、供給安全性の強化

#### Le Green Energy Park

- グリーン・エネルギー・パークはベンゲリール（マラケシュ＝サフィ地域圏内のレハムナ県の行政中心地）にある。
- 太陽光エネルギーの研究・教育試験施設で、**IRESEN**が**UM6P**と提携して開発を行っている。

### 3 | 主要企業による大型事業・投資計画動向④

#### グリーンエネルギー分野における合併会社設立

- OCP Green EnergyとFortescue Future Industriesは、グリーンエネルギー分野での合併会社設立を計画。本合併は、グリーン水素・グリーンアンモニアおよびグリーン肥料の生産を目的とし、モロッコ競争評議会に企業結合として正式に通知された。
- OCP Green Energy S.A. : OCPグループ100%出資の再生可能エネルギー事業会社で、OCPの脱炭素型生産をエネルギー面から支えている。
- Fortescue Future Industries UK Holdings Ltd : オーストリアのFortescueグループ傘下のイギリス持株会社で、グリーン水素・アンモニア等の産業用グリーンエネルギー開発を担う。

- ✓ **2024年6月13日** : プレスリリース
- ✓ **出資比率** : OGE 50%、FFI 50%
- ✓ **投資金額** : 未公開

#### 目的・事業内容

- OCPグループに対して、グリーン水素・グリーンアンモニアを活用した低炭素型肥料生産体制の構築は、自社のグリーン投資計画におけるエネルギー内製化・脱炭素工程の加速となる。
- モロッコ国家戦略に対して、再生可能エネルギー由来の新産業（Power-to-X）の育成により、グリーンエネルギー分野での対外産業連携・技術移転を目指している。
- FFI側にとっては、北アフリカにおける大規模需要家（OCP）と結びついた実装拠点の確保となる。

### 3 | 主要企業による大型事業・投資計画動向⑤

#### 大規模グリーンアンモニア事業①

- モロッコ政府の「Green Hydrogen Offer」プログラムの下、**TAQA Morocco**と**Moeve**がコンソーシアムを組み、グリーンアンモニアと産業用e-燃料の生産プロジェクトのための土地予約契約を政府と締結。プロジェクトは現在、実現可能性調査フェーズに入っている。
- **TAQA Morocco**：モロッコの再生可能エネルギー・低炭素エネルギー領域の主要事業体、国内電力供給・脱炭素戦略の中心的役割を担う。
- **Moeve**：スペイン発の国際的エネルギー企業、グリーン分子（グリーン水素・アンモニア・e-燃料）ベースの持続可能エネルギーソリューションとモビリティに注力。

- ✓ **2026年2月5日（発表）**：モロッコ政府との南部ダフラ地域での仮土地予約契約
- ✓ **投資金額**：未公開

#### 目的・事業内容

- TAQA Moroccoに対して、再生可能エネルギー供給能力の拡大と低炭素燃料の導入によるポートフォリオの脱炭素化促進のために、国内工業・交通部門のグリーン燃料需要への対応基盤を整備。
- Moeveにとって、グリーンアンモニアおよびe-燃料の製造・市場投入拠点の構築は、モロッコ・国際市場向けのグリーン分子燃料供給能力の獲得を目指している。
- モロッコ国家戦略に対して、「Green Hydrogen Offer」の実装を進め、再生可能エネルギー産業の実用化実例を創出することは、水素由来燃料の生産体制を確立し、輸出競争力の強化・脱炭素経済への転換に寄与するとされる。

(出所) MOEVE, "TAQA Morocco and Moeve Sign." (2026年2月5日)

### 3 | 主要企業による大型事業・投資計画動向⑥

#### 大規模グリーン水素・アンモニア事業②

- TotalEnergiesとEREN Groupの合併会社TE H2は、CIPおよびA.P. Møller Capitalとともに、モロッコ南部で大規模グリーン水素・アンモニア事業を推進するため、土地予約に関する予備契約をモロッコ政府と締結。本契約により、再生可能電力1GW規模を基盤とするグリーン水素・アンモニア生産プロジェクト（Chbika）の事前設計（pre-FEED）が開始される。
- TE H2：TotalEnergiesとEREN Groupによる合併会社で、再エネ資源に恵まれた地域で大規模グリーン水素事業を開発している。
- CIP（Copenhagen Infrastructure Partners）：再生可能エネルギー分野に特化した世界最大級のグリーンフィールド投資ファンド運用会社。
- A.P. Møller Capital：A.P. Møllerグループ傘下のインフラ投資会社で、港湾・輸送を含むエネルギー関連インフラ開発を担う。

- ✓ **2024年10月28日（締結）：モロッコ政府とのGuelmim-Oued Noun地方の土地予約予備契約**
- ✓ **規模（計画）：再生可能エネルギー設備を1GW（太陽光+風力）、グリーンアンモニアを年間20万トン**

#### 目的・事業内容

- モロッコに対して再生可能資源を活用した世界規模のグリーン水素生産拠点形成雇用創出・産業基盤強化・地域経済開発への貢献
- 欧州に対してグリーンアンモニアを通じた脱炭素燃料の安定供給源の確保欧州グリーンディール目標への寄与
- 参画企業に対して競争力の高い再エネ立地を活かした長期的グリーン分子事業の実装水素バリューチェーン（発電・製造・輸送）の垂直統合モデル構築

（出所）TotalEnergies / TE H2 / CIP / A.P. Møller Capital プレスリリース（2024年10月28日）

### 3 | 主要企業による大型事業・投資計画動向⑦

#### 直近の大規模なエネルギー関連計画

##### ナイジェリア・モロッコ間のガスパイプライン

- 全長 6,000km
- 投資額 250億ドル
- 参加国 13か国
- エネルギー安全保障を強化し、欧州への安定供給回廊としての戦略的価値が高い。専門家はこのプロジェクトを「信頼性の高い大陸横断インフラ」と評価し、地政学的重要性も指摘されている。既存の別ルート案より治安面で優れているとの見方が示され、建設開始は今後の工程として進められる見込み。この回廊は西アフリカの経済統合と外部市場との結びつき強化にも寄与するとされる。

(出典) Le360, "Gazoduc Nigeria-Maroc," (2026年2月24日)



#### 「Offre Maroc Hydrogène Vert」で5件の新規案件が承認される

- モロッコ南部3か所で6つのプロジェクトを国内外の**5社**によって実施（費用：3,190億ディルハム）
  - 米国Ortus、スペインのAcciona、ドイツのNordexからなるORNX投資コンソーシアム：アンモニア生産
  - UAEのTaqa、スペインのCepsaからなる投資コンソーシアム：アンモニアと産業用燃料の生産
  - モロッコのNareva：アンモニア、産業用燃料、グリーンスチールの生産に投資
  - サウジアラビアのACWA Power
  - 中国のUEGとChina Three Gorgesからなる投資コンソーシアム：アンモニア生産に投資

(出所) Le360, "Hydrogène vert," (2025年3月7日)

## Ⅲ. 日系企業への示唆

# 1 | 日本企業への戦略的示唆

## ■ 市場機会：単なる発電ではなく統合型産業形態

- ・ 再エネ導入拡大（2030年発電容量の52%目標）
  - ・ グリーン水素・アンモニア輸出構想
  - ・ 送電網増強・蓄電・LNG補完投資が同時進行
- ➔ **発電＋蓄電＋制御＋水素関連設備のパッケージ参入の余地がある。**

## ■ 日本企業が優位性を持つ分野

- ・ 高効率ガスタービン（移行期のLNG活用）
  - ・ CO2排出量の測定器など「気候テック」の提供
  - ・ 系統安定化技術（蓄電池・EMS・スマートグリッド）
  - ・ 水素製造・貯蔵・アンモニア転換技術
  - ・ 省エネ・脱炭素コンサルティング
- ➔ **「信頼性」、「長寿命」、「運用ノウハウ」が差別化要素である。**

## ■ リスクと留意点

- ・ 水素分野は「バンクビリティ」が最大課題、欧州需要依存リスク、中国企業との価格競争
- ➔ **金融パッケージ＋長期オフテイク契約の設計が鍵となる。**

## ■ 戦略的ポジション

- ・ モロッコは「EU市場への橋頭堡」、「アフリカ展開の拠点」、「グリーン水素実証フィールド」
- ➔ **中長期的拠点投資価値あり。**

# レポートをご覧いただいた後、 アンケートにご協力ください。 (所要時間：約1分)

[https://www.jetro.go.jp/form5/pub/sce/sce-reports\\_2603\\_mra](https://www.jetro.go.jp/form5/pub/sce/sce-reports_2603_mra)



## レポートに関するお問い合わせ先

独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外ビジネスサポートセンター  
サステナブルビジネス課



SCE@jetro.go.jp



〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32  
アーク森ビル6階

### ■ 免責条項

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載